

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告 (案)

令和 2 年度においては、次のように事業を実施した。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染予防のため国の基準に合わせ、緊急事態宣言が出た 5 月に 1 か月休館の措置をとった。その後開館してからもマスクの着用、手の消毒の推奨、売店や受付に飛沫感染防止のためシールドの設置を行った。また密集・密接を避けるため記念館内への入館者数の上限を 40 名に制限した。紙漉き体験をする手漉き和紙伝習所では 15 名程度の入場制限を行った。

体温計は設置せず来館者名簿も作っていないが、個人、団体とも連絡先を必ず記入する措置を常時行った。

(公益事業)

1. 展示活動について

① 常設展示 「安部榮四郎の軌跡と民芸作家作品展」

展示は常設のみで行った。昭和初期から民芸運動を縁に松江を訪れていた柳宗悦、バーナード・リーチ、河井寛次郎、棟方志功等の作品を展示した。

展示の説明や展示品のキャプションを海外の方にも分かりやすく英語・フランス語で表記し、展示の説明文に関しては冊子を作成した。

尚こうした取り組みは、インバンド効果が大きく当初令和 3 年度は約 1,000 名の海外からの来館者を予定していたが、新型コロナウイルスのパンデミックによりすべてキャンセルとなった。

展示期間： 令和 2 年 4 月～令和 3 年現在

2. 和紙普及活動について

① 手すき和紙伝習所において

・紙すき体験の受入れ

予約制で一人から学校団体まで受入れ、人数と時間によって紙すき内容を変え対応した。例年通り八雲幼保園、小学校・中学校、及び松江市内保育園幼稚園等が卒業証書を漉いた。

またこれまで来館のなかった近隣の高等学校の遠足、小・中学校の修学旅行などが来館し体験学習を行った。

② 「紙樂塾」 (しがくじゅく) の開催

一般参加の和紙工芸体験を開催。ロビーにおける少人数のワークショップを開催した。

手すき和紙伝習所で漉いた和紙で箱ライト作りや夏休みに和紙を使った額絵作りのワークショップを 6 回開催した。参加者 30 名。

また、八雲塾「紙ってどうして出来るの？三極皮はぎから紙すきまで」

(第 31 回) を 2 月 6 日に開催。年に 1 度の冬の風物詩で紙の原木三極を古式の方法で蒸し、皮をはぎ、紙料を作り、紙すきまでの工程を体験した。八雲公民館より 8 名参加。(コロナの影響で参加者は例年に比べ少なかった。)

入館者数

月日	有 料								無料		合計
	個人入館者数				優待者入館者数				小計		
	大人	大高生	中小生	計	大人	大高生	中小生	計			
4月計	3	0	0	3	4	0	2	6	9	23	32
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
6月計	4	0	0	4	3	0	0	3	7	36	43
7月計	10	0	0	10	10	0	0	10	20	66	86
8月計	23	4	4	31	3	0	2	5	36	59	95
9月計	18	0	0	18	5	0	2	7	25	16	41
10月計	43	0	3	46	24	103	82	209	255	75	330
11月計	67	0	0	67	26	0	1	27	94	205	299
12月計	5	2	0	7	0	0	0	0	7	34	41
1月計	10	0	0	10	2	0	55	57	67	21	88
2月計	29	29	4	62	4	0	0	4	66	44	110
3月計	57	3	0	60	7	85	0	92	152	43	195
合計	269	38	11	318	88	188	144	420	738	629	1367
	75	103	27	73	11	369	58	40	50	70	57
2019 合計	357	37	41	435	746	51	249	1046	1481	897	2378

体験教室参加者数

月日	有 料				無料	
	大人	大高生	中小生	幼児		合計
4月計	12	0	2	0	6	20
5月計	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	24	24
7月計	8	0	0	19	5	32
8月計	3	4	46	1	36	90
9月計	7	0	2	0	18	27
10月計	15	103	5	48	6	177
11月計	44	0	55	75	37	211
12月計	2	1	0	0	20	23
1月計	8	0	55	2	11	76
2月計	20	18	4	8	21	71
3月計	28	87	8	0	5	128
合計	147	213	177	153	189	879
	24	387	57	82	82	62
2019 合計	624	55	313	187	231	1410

③ 和紙を未来へ繋ぐ事業実行委員会の事業について

文化庁の博物館に対する事業支援「地域と共働した博物館創造活動支援事業」に応募し認可をうけた。(令和2年から3年計画で実施予定)全国72件中6位通過し令和2年度は以下の活動を行った。詳細は記念館ホームページやチラシ QR コードの読み取り、また事業報告書に記載している。

(ア) 原料栽培と体験・和紙開発

目的は今後国内産の原料が不足していくことに対し危機感があり、栽培の方法を確立し和紙の継続に寄与する。また体験プログラムにおける手漉き和紙の良さは紙漉きだけでは伝わらないので、漉いた紙を日常生活で応用するうちわ、写真、ライト、トレー作りなどのワークショップを行った。(チラシ参照)

- 広瀬町和紙職人・長島勲氏の休耕田を借りトロロアオイを栽培
- 三椏の試験栽培：挿し木・種の採取・苗木の植樹
- 体験プログラムの実施(チラシ参照)ここで行う体験は和紙を作る過程としてレシピ本に掲載する。

(イ) 技術記録とレシピ本作成の準備

近い将来手漉き和紙が無くなるのではないかとの危機感から、今出来る記録の方法で和紙の制作技術を記録し、レシピ本を作成し後世に伝えることを目的としている。栽培も含め(ア)で行ったことはレシピ本に書き残す。

- 八雲町の三椏分布調査及び高齢者からの聞き取り調査を行い三椏栽培地の候補を決定した。
- 出雲民藝紙の漉く技術は安部榮四郎が原料の特徴を出せるよう独自に開発したもので、その技術を記録するため使用する道具類や漉く時の動作などを記録した。実行委員会の構成メンバーである松江工業高等専門学校の准教授片山優氏と学生により安部信一郎・紀正2名の技術をデータ化した。

(ウ) 全国手漉き和紙生産者アンケート調査の準備

- 令和2年度の予定は設問の設定と、全国手漉き和紙用具製作技術保存会(高知県伊野町)と連携し、アンケート調査を行う準備段階であった。手漉き和紙の定義があいまいなため、これまでの調査に機械漉き和紙の生産者も含まれていた。今回2回目の調査では手漉き和紙に絞ることとした。そうすることで紙漉き用具生産者と連携しお互いを結びつける役割をはたすことができる。

機械すきについて調査をするべきであったが、コロナ禍の中での出張が容易ではなく断念した。

用具製作技術者会事務局には、12月日帰りで打ち合わせ会議をして、状況の聞き取り、名簿の提出をうけた。令和3年度にアンケートを実施する。

(収益事業)

コロナの影響により入館者が大きく落ち込んだため、売店収入は大きく落ち込んだ。

国による持続化給付金200万円、松江市からの給付金10万円、国が実施した家賃補助金26,664円を受給した。このことにより当初計画していた収益事業の収益の損失を補填することが出来た。

(株)しゅんこうより土地賃貸料がはいった。

(法人事業)

- ① 役員会の開催
 - ・令和2年度5月29日 理事会開催
令和元年度事業報告、決算及び財務諸表、評議員会の日時等について審議し決定承認した。
 - ・令和2年度6月15日 みなし評議員会開催
令和元年度事業報告、決算及び財務諸表を書面により承認決議した。
 - ・令和3年3月2日 理事会開催
令和2年度補正予算、令和3年度事業計画と予算、評議員会の日時等について審議し決定承認した。
 - ・令和3年3月17日 みなし評議員会を開催
令和2年度補正予算、令和3年度事業計画と予算の報告を書面により承認決議した。
- ② 令和2年5月23日に長島、長澤両監事による監査が実施された。

財 産 目 録

令和 3 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現 金 ・ 預 金	手元保管		運転資金として	60,421
現 金	島根県農協／八雲支店		運転資金として	101,954
普 通 預 金	山陰合同銀行／古志原支店		運転資金として	1,068,750
	八雲郵便局		運転資金として	139,048
	振替口座①		運転資金として	1,586
	振替口座②		運転資金として	614
	山陰合同銀行／八雲代理店			-
定 期 預 金	山陰合同銀行／八雲			5,007,213
前 払 金	国債額面価額超過額未経過分			25,600
仮 払 金				85,878
流 動 資 産 合 計				6,491,064
2 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
土 地	設立者寄付土地（記念館敷地）	1191.07 m ²	公益目的保有で、記念館敷地使用	3,823,307
利 付 国 債	設立者寄付所蔵品	817 点	公益目的保有で、展示事業に使用	20,000,000
所 蔵 品	島根県農協／八雲支店			157,048,500
定 期 預 金				10,000,000
基 本 財 産 合 計				190,871,807
(2) そ の 他 固 定 資 産				
建 物	記念館	434.08 m ²	公益目的保有で、1階に売店あり	89,203,856
	伝習所	77.53 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	5,680,000
	伝習所	17.57 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	4,200,000
構 築 物	庭園、塀、舗装路面、防壁			7,263,126
什 器 備 品	応接セット、書棚、陳列台ほか			5,109,320
建 物 付 属 設 備	電気、災害報知、給排水設備			9,809,999
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	手漉き和紙伝習設備		公益目的保有で、体験教室使用	890,000
減 価 償 却 累 計 額	減価償却累計額			△99,500,817
電 話 加 入 権	電話加入権			81,140
そ の 他 固 定 資 産 合 計				22,736,624
固 定 資 産 合 計				213,608,431
資 産 合 計				220,099,495
II 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
前 受 金	株式会社 前受貸貸料			9,000,000
預 り 金	源泉所得税		31年1～3月分	21,218
	社会保険料		31年2～3月分	
売 店 預 り 金	受託販売			246,493
流 動 負 債 合 計				9,267,711
負 債 合 計				9,267,711
正 味 財 産				210,831,784

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	60,421	26,343	34,078
預 金	6,319,165	6,158,577	160,588
前 払 金	25,600	25,600	0
仮 払 金	85,878	0	85,878
流 動 資 産 合 計	6,491,064	6,210,520	280,544
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
土 地	3,823,307	3,823,307	0
利 付 国 債	20,000,000	20,000,000	0
所 蔵 品	157,048,500	157,048,500	0
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
基 本 財 産 合 計	190,871,807	190,871,807	0
(2) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	99,083,856	99,083,856	0
構 築 物	7,263,126	7,263,126	0
什 器 備 品	5,109,320	5,109,320	0
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,999	0
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	890,000	0
減 価 償 却 累 計 額	△99,500,817	△98,329,257	△1,171,560
電 話 加 入 権	81,140	81,140	0
そ の 他 固 定 資 産 合 計	22,736,624	23,908,184	△1,171,560
固 定 資 産 合 計	213,608,431	214,779,991	△1,171,560
資 産 合 計	220,099,495	220,990,511	△891,016
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
前 受 金	9,000,000	10,000,000	△1,000,000
預 り 金	21,218	21,653	△435
売 店 預 り 金	246,493	216,370	30,123
流 動 負 債 合 計	9,267,711	10,238,023	△970,312
負 債 合 計	9,267,711	10,238,023	△970,312
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	210,831,784	210,752,488	79,296
(内 基 本 財 産 へ の 充 当 額)	(190,871,807)	(190,871,807)	(0)
正 味 財 産 合 計	210,831,784	210,752,488	79,296
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	220,099,495	220,990,511	△891,016

正味財産増減計算書

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(1,201,000)	(1,201,002)	(Δ2)
基本財産受取利息	201,000	201,002	Δ2
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0
② 事業収益	(2,086,818)	(3,069,627)	(Δ982,809)
入館料収入	249,200	549,900	Δ300,700
伝習所運営収入	583,000	833,370	Δ250,370
売店収入	1,254,618	1,686,357	Δ431,739
③ 受取補助金等	(606,000)	(606,000)	(0)
受取地方公共団体補助金	606,000	606,000	0
④ 受取寄付金	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0
⑤ 雑収益	(2,134,520)	(8,695)	(2,125,825)
受取利息	7,256	105	7,151
雑収入	2,127,264	8,590	2,118,674
経常収益計	7,228,338	6,085,324	1,143,014
(2) 経常費用			
① 事業経費	(6,024,966)	(6,858,946)	(Δ833,980)
給料手当	1,807,880	1,547,000	260,880
臨時雇賃金	88,600	394,370	Δ305,770
福利厚生費	283,500	284,209	Δ709
旅費交通費	11,400	20,400	Δ9,000
通信運搬費	145,069	150,794	Δ5,725
減価償却費	1,078,188	1,143,597	Δ65,409
消耗品費	44,940	64,950	Δ20,010
修繕費	13,200	80,000	Δ66,800
印刷製本費	693,000	605,000	88,000
光熱水料費	388,185	467,382	Δ79,197
賃貸借料	397,827	405,044	Δ7,217
保険料	84,983	86,106	Δ1,123
諸謝金	55,033	0	55,033
雑費	512,301	433,418	78,883
広告宣伝費	22,550	365,340	Δ342,790
調査研究費	0	400,000	Δ400,000
研修教材費	398,310	411,336	Δ13,026
事業費計	6,024,966	6,858,946	Δ833,980

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
会 議 費	18,700	23,880	△5,180
通 信 運 搬 費	30,983	26,070	4,913
減 価 償 却 費	93,372	96,721	△3,349
消 耗 品 費	87,981	12,442	75,539
修 繕 費	20,350	8,229	12,121
印 刷 製 本 費	0	20,900	△20,900
光 熱 水 料 費	3,339	4,766	△1,427
賃 借 料	32,931	36,108	△3,177
保 險 料	1,969	846	1,123
諸 謝 金	192,537	261,720	△69,183
租 税 公 課	0	1,000	△1,000
負 担 金	88,200	119,200	△31,000
支 払 利 息	0	12,800	△12,800
雑 費	325,013	307,593	17,420
広 告 宣 伝 費	0	24,992	△24,992
管 理 費 計	895,375	957,267	△61,892
経 常 費 用 計	6,920,341	7,816,213	△895,872
評価損益等調整前当期経常増減額	307,997	△1,730,889	2,038,886
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	307,997	△1,730,889	2,038,886
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	307,997	△1,730,889	2,038,886
法人税、住民税及び事業税	228,701	210,500	18,201
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	79,296	△1,941,389	2,020,685
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	210,752,488	212,693,877	△1,941,389
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	210,831,784	210,752,488	79,296
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	210,831,784	210,752,488	79,296

正味財産増減計算書内訳表

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	
	公益目的事業	小計	施設等事業	貸貸事業	小計	法人管理	小計
1 一般正味財産増減の部							
1 經常増減の部							
(1) 經常増減の部							
① 基本財産運用利息	0)	0)	0)	1,000,000)	1,000,000)	201,000)	201,000)
② 基本財産受取賃貸料	0	0	0	0	0	201,000	201,000
③ 事業用施設受取賃料	832,200)	832,200)	1,249,418)	0)	1,252,418)	0)	0)
④ 事業用施設受取賃料	249,200	249,200	0	0	0	0	0
⑤ 事業用施設受取賃料	583,000	583,000	0	0	0	0	0
⑥ 受取地方公共団体補助金	606,000)	606,000)	0)	0)	0)	0)	0)
⑦ 受取地方公共団体補助金	606,000	606,000	0	0	0	0	0
⑧ 受取客付金	1,200,000)	1,200,000)	0)	0)	0)	0)	0)
⑨ 雑受取金	1,200,000	1,200,000	0	0	0	0	0
⑩ 雑受取金	0	0	2,127,264)	7,256)	2,134,520)	0)	0)
⑪ 雑受取金	0	0	0	7,256	7,256	0	0
⑫ 雑受取金	0	0	2,127,264	0	2,127,264	0	0
⑬ 雑受取金	2,638,200	2,638,200	3,376,682	1,007,256	4,386,938	201,000	201,000
(2) 經常増減の部							
① 事業用経費	4,086,261)	4,086,261)	1,932,936)	0)	1,932,936)	5,769)	5,769)
② 事業用経費	903,941	903,941	903,939	0	903,939	0	0
③ 事業用経費	44,300	44,300	44,300	0	44,300	0	0
④ 事業用経費	141,753	141,753	141,747	0	141,747	0	0
⑤ 事業用経費	5,700	5,700	5,700	0	5,700	0	0
⑥ 事業用経費	104,879	104,879	40,190	0	40,190	0	0
⑦ 事業用経費	943,374	943,374	134,814	0	134,814	0	0
⑧ 事業用経費	41,356	41,356	3,584	0	3,584	0	0
⑨ 事業用経費	13,200	13,200	0	0	0	0	0
⑩ 事業用経費	253,000	253,000	440,000	0	440,000	0	0
⑪ 事業用経費	371,931	371,931	15,645	0	15,645	609	609
⑫ 事業用経費	360,609	360,609	35,080	0	35,080	2,138	2,138
⑬ 事業用経費	72,119	72,119	12,864	0	12,864	0	0
⑭ 事業用経費	51,696	51,696	3,337	0	3,337	0	0

(單位：元)

科 目	公益目的事業會計		以營事業等會計		法人會計		
	公益目的事業	小計	以營等事業	貨貸事業	小計	法人管理	小計
指定正味財產期首殘高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財產期末殘高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財產期末殘高	Δ14,662,663	Δ14,662,663	Δ67,340,523	2,612,956	Δ64,724,567	290,216,814	290,216,814

収 支 計 算 書

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(1,201,000)	(1,201,000)	(0)	
基本財産受取利息	201,000	201,000	0	
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0	
② 事業収益	(1,850,000)	(2,086,818)	(Δ236,818)	
入館料収入	200,000	249,200	Δ49,200	
伝習所運営収入	450,000	583,000	Δ133,000	
売店収入	1,200,000	1,254,618	Δ54,618	
③ 受取補助金等	(606,000)	(606,000)	(0)	
受取地方公共団体補助金	606,000	606,000	0	
④ 受取寄付金	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)	
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0	
⑤ 雑収益	(2,128,000)	(2,134,520)	(Δ6,520)	
受取利息	1,000	7,256	Δ6,256	
雑収入	2,127,000	2,127,264	Δ264	
経常収益計	6,985,000	7,228,338	Δ243,338	
(2) 経常費用				
① 事業経費	(6,183,000)	(6,024,966)	(158,034)	
給料手当	1,668,000	1,807,880	Δ139,880	
臨時雇賃金	160,000	88,600	71,400	
福利厚生費	280,000	283,500	Δ3,500	
旅費交通費	15,000	11,400	3,600	
通信運搬費	150,000	145,069	4,931	
減価償却費	1,115,000	1,078,188	36,812	
消耗品費	70,000	44,940	25,060	
修繕費	15,000	13,200	1,800	
印刷製本費	700,000	693,000	7,000	
光熱水料費	450,000	388,185	61,815	
賃貸借料	400,000	397,827	2,173	
保険料	90,000	84,983	5,017	
諸謝金	60,000	55,033	4,967	
雑費	450,000	512,301	Δ62,301	
広告宣伝費	50,000	22,550	27,450	
調査研究費	10,000	0	10,000	
研修教材費	500,000	398,310	101,690	
事業費計	6,183,000	6,024,966	158,034	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
② 管 理 費				
会 議 費	20,000	18,700	1,300	
通 信 運 搬 費	30,000	30,983	△983	
減 価 償 却 費	56,000	93,372	△37,372	
消 耗 品 費	60,000	87,981	△27,981	
修 繕 費	21,000	20,350	650	
光 熱 水 料 費	4,000	3,339	661	
賃 借 料	60,000	32,931	27,069	
保 險 料	2,000	1,969	31	
諸 謝 金	220,000	192,537	27,463	
租 税 公 課	1,000	0	1,000	
負 担 金	120,000	88,200	31,800	
支 払 利 息	13,000	0	13,000	
雑 費	330,000	325,013	4,987	
広 告 宣 伝 費	10,000	0	10,000	
管 理 費 計	947,000	895,375	51,625	
經 常 費 用 計	7,130,000	6,920,341	209,659	
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 經 常 増 減 額	△145,000	307,997	△452,997	
評 価 損 益 等 計	0	0	0	
当 期 經 常 増 減 額	△145,000	307,997	△452,997	
2 經 常 外 増 減 の 部				
(1) 經 常 外 収 益				
經 常 外 収 益 計	0	0	0	
(2) 經 常 外 費 用				
經 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 經 常 外 増 減 額	0	0	0	
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△145,000	307,997	△452,997	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	0	228,701	△228,701	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△145,000	79,296	△224,296	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	0	210,752,488	△210,752,488	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	△145,000	210,831,784	△210,976,784	
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	
III 正 味 財 産 期 末 残 高	△145,000	210,831,784	△210,976,784	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	3,823,307	0	0	3,823,307
利 付 国 債	20,000,000	0	0	20,000,000
所 蔵 品	157,048,500	0	0	157,048,500
定 期 預 金	10,000,000	0	0	10,000,000
合 計	190,871,807	0	0	190,871,807

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土 地	3,823,307	0	(3,823,307)	0
利 付 国 債	20,000,000	0	(20,000,000)	0
所 蔵 品	157,048,500	0	(157,048,500)	0
定 期 預 金	10,000,000	0	(10,000,000)	0
合 計	190,871,807	(0)	(190,871,807)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	99,083,856	77,427,702	21,656,154
構 築 物	7,263,126	6,763,806	499,320
什 器 備 品	5,109,320	4,609,314	500,006
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,996	3
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	889,999	1
電 話 加 入 権	81,140	0	81,140
合 計	122,237,441	99,500,817	22,736,624

5. 保証債務等の偶発債務

該当事項ありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項ありません。

7. 重要な後発事象

該当事項ありません。

8. その他

前受金を原資とする定期預金の預金利子収入は、収益事業として計上してある。

監査報告書


公益財団法人 安部榮四郎記念館

理事長 安部信一郎 殿

令和3年 6月 2日

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事

長島 讓 

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事

長澤 広明 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2、監査意見

(1)事業報告の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。